

夢への扉

鶴沼中学校 学校だより
令和3年11月29日

【主体性・社会性】

「自分で考え、判断し、

周りとながりにながら行動する。」

【新しい体育祭】

10月29日(金)午前、体育祭を行いました。コロナ禍により、どのような体育祭ができるのか、生徒会を中心に何度も話し合いをして、新しい体育祭を生み出しました。準備段階からできる限り「3密」を避けて短い時間で練習をしました。また、競技種目の内容も生徒の工夫で決まりました。

当日好天の中、競技に一生懸命取り組む姿、自然に仲間を応援する姿、係の活動を誠実に取り組む姿、係の指示に応える姿など、鶴沼中の生徒のよさが十分に発揮できた体育祭でした。



【開会式】



【バトンに重いのをのせて】



【放る in one】



【団対抗リレー】



【特技を活かせ!ミッションリレー】



【令和ジャンプ】

【パラ五輪5位入賞 石田選手後輩に語る】

11月2日(火)5・6限に、本校の卒業生である石田駆選手に講話をしていただきました。石田選手は、本校在学中から陸上競技に取り組み、進学した高校でも続け、全国高校総体に出場しました。大学入学直後に、左上腕部の骨肉腫が判明し、人工関節を入れ、パラ陸上競技に転向。今夏、東京2020パラリンピック陸上競技男子100メートルで5位に入賞しました。

本校卒業生という生徒にとっては身近な人が、困難を乗り越えて自分の目標を達成し、さらに上を目指す生き方に触れることができました。生徒のみなさんは、自己の進路選択そして自分の生き方をより考えるよい時間となりました。

